

手力男命と力比べ

ドイツ柔道連盟の歓迎レセプション 延岡合宿

ドイツ柔道連盟の歓迎レセプションは11日、延岡市のエンシティホテル延岡であった。市や柔道関係者ら約40人が出席。市振神楽保存会が観客も参加

「ひき」を披露し、選手やスタッフが楽しんだ。主催のアスリートタウンのべおか国際合宿等推進協議会の木原一成会長、読谷山洋司市

長が旭化成柔道部や県警などと練習への協力に感謝。予定されていた交流で、市民との触れ合いも力に変えてほしいとあいさつ。

ドイツ柔道連盟のノルベルト・シユベッカー副会長が「市役所での『第九喜びの歌』から歓迎の心が届いた。選手たちは「れまでも延岡でのさまざまな体験で成長させてもらった。今後も相互交流ができれば」とお礼を述べた。

ドイツ語の「プロースト」のかけ声で乾杯。市振神楽では、日本独特の音色の中、選手たちは「手力男」たちから「お」と柴を引き合う力比べにも挑戦した。同連盟の合宿は3回目。今回は男子のトップ選手9人とスタッフが4人が16日まで、同市共栄町の旭化成柔道場などで練習を行う。



「手力男」と柴を引き合うドイツの選手たち(11日、エンシティホテル延岡)